

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門基礎分野	疾病論Ⅱ (栄養・代謝・排泄)	2	60	1年次	9月	杉 和洋 宮成信友 西川武志 富田正郎 菊川浩明
授業概要 疾病の成り立ちと回復の促進について理解し、病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・検査・診断・治療について学ぶ。						
到達目標 栄養、代謝、排泄における疾患の病態・治療・検査について理解する。						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[5] 消化器；医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝；医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[8] 腎・泌尿器；医学書院 参考文献等						
評価 筆記試験 授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
消化器内科						
17時間・9回	1.消化管機能障害の主な症状とメカニズム 2.主な検査と治療・疾患 1)検査 (1)上部消化管内視鏡 (2)ERCP (3)消化管造影 (4)CT・MRI (5)大腸内視鏡 (6)腹部超音波 (7)肝生検 2)治療 (1)薬物療法 (2)食事療法 (3)経腸栄養法 (4)肝動脈塞栓術 (5)インターフェロン療法 3)疾患の理解 (1)胃・十二指腸潰瘍 (2)腹膜炎 (3)肝炎、肝硬変、肝癌、(4)膵炎 (5)潰瘍性大腸炎 (6)クローン病					講義
1時間・1回	筆記試験 45分間 (消化器内科は試験時間合わせて18時間)					
消化器外科						
12時間・6回	1.主な検査と治療・疾患 1)疾患と治療 (1)食道癌・食道再建術 (2)胃癌・胃切除術 (3)大腸癌・低位前方切除術、人工肛門造設術、イレウス (4)胆石症・胆嚢摘出術 (5)膵臓癌・膵頭部切除術 (6)急性腹症 (7)腹部外傷					講義
	筆記試験 45分間 (消化器外科は試験時間合わせて12時間。内分泌・代謝と合わせて100点満点)					
内分泌・代謝						
9時間・5回	1.内分泌代謝障害の主な症状とメカニズム 2.主な検査と治療・疾患 1)検査 (1)ホルモン測定 (2)血糖・尿糖測定 (3)ホルモン負荷試験 2)治療 (1)インスリン療法 (2)ホルモン補充療法、抗ホルモン療法					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門基礎分野	疾病論Ⅱ (栄養・代謝・排泄)	2	60	1年次	9月	杉 和洋 宮成信友 西川武志 富田正郎 菊川浩明
時間・回数	授業内容					方法
	3) 疾患の理解 (1)甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 (2)腫瘍(甲状腺癌、下垂体腫瘍) (3)高脂血症 (4)痛風 (5)肥満 (6)糖尿病 (7)尿崩症					
1時間・1回	(内分泌代謝は、消化器外科と合わせて100点満点。試験時間は内分泌・代謝を含む)					
腎・泌尿器						
10時間・5回	1.腎 1)腎障害に伴う症状と病態生理 (尿の異常、浮腫、水・電解質の異常、尿毒症) 2)診断に欠かせない検査 (尿検査、腎機能検査、腎生検) 3)腎泌尿器障害における治療 (透析療法、腎臓移植) 4)疾患の理解 (糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、腎不全)					講義
9時間・5回	2.泌尿器 1)泌尿器障害に伴う症状と病態生理(排尿障害、性機能障害) 2)診断と治療に欠かせない検査(尿流動態検査、膀胱鏡検査) 3)腎泌尿器障害における治療(尿路変更術、前立腺摘出術) 4)疾患の理解(尿路結石症、前立腺肥大症、膀胱腫瘍、前立腺がん)					講義
1時間・1回	筆記試験 45分間 (腎・泌尿器は試験時間合わせて20時間)					
備考						